

## 区 林 産

平成22年次の素材生産量は140千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ14%の伸びとなった。これは素材の主な需要先である木造住宅の着工戸数が対前年比110%の14,717戸に増加したことが要因となっている。

また、平成22年次の県内の素材総需要量は365千 $\text{m}^3$ で、そのうち国産材の割合は78.0%と前年に比べ6.2ポイント増加しており、製材工場等における外材から国産材への原料転換が進行していることがうかがえる。

しいたけやたけのこ等の特用林産物生産量は、輸入量などの影響により減少傾向にあった。しかし近年は、食の安全に対する関心の高まり等、需用の増加を受け、一部の作物において生産量が増加傾向となっている。

平成22年次たけのこ生産量は、表年であったことから対前年比164%の13,226トンと増加している。

### 1. 木 材

#### (1) 木材の生産・需要

##### ア. 県産材樹種別素材生産量

(単位：千 $\text{m}^3$ )

区分 年次	総 数	針 葉 樹						広 葉 樹			
		総 数	あかまつ くろまつ	す ぎ	ひのき	も み つ が	その他 針葉樹	総 数	な ら	ぶ な	その他 広葉樹
18	123	113	2	92	18	—	1	10	—	—	10
19	135	120	1	101	18	—	0	15	—	—	15
20	177	162	3	137	22	—	0	15	—	—	15
21	123	116	3	87	20	—	6	7	—	—	7
22	140	129	2	113	14	—	0	11	—	—	—

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

##### イ. 県産材用途別素材供給量

(単位：千 $\text{m}^3$ )

区分 年次	総 数	製 材 用	木 材 チップ用	備 考
18	123	108	15	
19	135	115	20	
20	177	143	25	
21	123	96	27	
22	140	108	32	

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

ウ. 用途別素材需要量

(単位：千㎡)

年次	区分	総数	国産材	外材					
				総数	米材	南洋材	北洋材	ニュージーランド産	その他
18		400	272	128	90	4	20	2	12
19		471	336	135	67	5	46	5	12
20		443	318	125	68	6	42	4	5
21		382	298	84	42	8	26	1	7
22		365 (326)	304 (265)	61 (61)	50 (50)	2 (2)	5 (5)	1 (1)	3 (3)

※ ( ) 内は製材用としての需要量

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

※木材需要量統計：この統計調査では、木材需給動向・素材生産量の把握については、山元段階の調査が困難なことから、素材消費工場段階への入荷量をもって素材供給量（＝素材需要量）とみなし、その内国産材供給量を素材生産量としている。素材生産量については、県間交流表により都道府県別・樹種別に算出し、外材供給量は、産地材別に調査している。

## (2) 福岡県での新設住宅着工戸数

(単位：戸)

年次	区分			
	総数	木造	非木造	木造率 (%)
18	58,952	17,365	41,587	29
19	45,066	15,994	29,072	35
20	47,139	17,183	29,956	36
21	28,997	13,366	15,631	46
22	31,156	14,717	16,439	47

資料：国土交通省「住宅着工統計」

## (3) 福岡県での木材価格

(単位：円/㎡)

年次	区分	丸太 (18.0~22.0cm・長さ4.0m)		正角2級 製材品 (10.5×10.5cm×3.0m)	
		スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ
18		12,600	24,600	34,900	63,400
19		13,100	21,700	37,600	65,600
20		12,000	21,800	34,900	63,100
21		10,700	19,200	32,900	59,400
22		12,300	19,500	32,700	56,200
平成 22 年 次 内 訳	1月	12,200	21,600	32,200	56,400
	2月	12,150	20,450	32,400	55,700
	3月	12,650	18,500	32,700	55,900
	4月	12,700	19,300	31,800	55,900
	5月	13,600	19,850	32,300	55,900
	6月	12,300	18,900	32,600	55,900
	7月	11,800	19,000	32,600	56,300
	8月	11,600	19,100	32,400	56,300
	9月	11,900	19,500	32,600	56,300
	10月	12,200	19,250	32,700	56,300
	11月	12,200	19,200	33,500	56,500
	12月	12,400	19,300	34,100	56,700

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材価格」

※平成19年次より農林水産省の丸太価格の調査データがなくなったため、平成19年次以降の丸太価格（太枠内）については、県森連浮羽事業所の丸太価格（径18.0~22.0cm・長さ4.0m）を表示している。

## 2. 福岡県内の規模別製材工場数

(単位：工場数)

区分 年次	総 数	7.5～ 22.5kw	22.5～ 37.5kw	37.5～ 75.0kw	75.0～ 150.0kw	150.0～ 300.0kw	300.0kw 以 上
18	191	15	57	67	27	16	9
19	188	21	54	63	26	14	10
20	175	24	44	55	26	15	11
21	168	41	32	44	27	14	10
22	159	25	41	49	23	13	8

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

## 3. 主要特用林産物生産量

(単位：トン(竹材：千束))

種別 年次	しいたけ		たけのこ	竹 材		木ろう	木 炭 等		えのきたけ	ぶなしめじ	くり	ぎんなん	ふき	
	乾	生		まだけ	もうそう		木炭	竹炭						
18	21	594	8,857	16	55	40	38	322	6,031	9,210	111	70	278	
19	21	624	6,811	15	50	34	36	344	6,501	9,562	93	94	413	
20	27	820	10,723.3	13	49	23	31	366	6,396	9,325	88	82	343	
21	25	803	8,050.9	12	49	21	29	302	6,649	10,761	117	98	352	
22	26	813	13,225.8	12	49	22	33	269	7,182	11,767	-	-	330	
平成 22 年次 内訳	筑後	13.7	237.3	10,995.7	7.5	47.0	21.7	8.3	253.4	6,407.7	11,752.8	-	-	59.0
	朝倉	7.5	106.2	75.1	-	-	-	12.0	0.7	3.2	2.9	-	-	3.7
	福岡	-	15.0	68.6	4.0	1.5	-	5.1	1.1	771.0	11.7	-	-	60.7
	飯塚	3.6	285.4	287.8	-	-	-	3.1	11.6	0.0	-	-	-	171.7
	八幡	-	141.6	1,559.0	-	0.0	-	3.0	1.5	-	-	-	-	31.2
	行橋	1.3	27.6	239.6	-	-	-	1.8	0.4	-	0.0	-	-	3.5

(注) 四捨五入の関係で年次内訳と合計は一致しない。

#### 4. 特用林産基盤整備事業

特用林産物の産地化を推進し、特用林産物の品質の向上、生産の合理化をはかるため、昭和61年度から実施している。

農林名	市町村	地域名	事業主体	振興作物	事業種目	事業内容	事業量	総事業費 (千円)
八幡	北九州市	小倉南区 合馬地区	合馬たけのこ生産組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹林改良(客土)	1.45ha	4,000
								小計
飯塚	川崎町	大字安眞木	川崎町筍出荷組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹林改良	0.80ha	950
					作業道等整備事業	作業路	85m	106
					小計	1,056		
筑後	八女市	立花町白木	田楽原地区チップ ー利用組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹材粉碎機	1台	970
		立花町白木	白木地区チップ ー利用組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹材粉碎機	1台	970
		上陽町下横山	仏尾椎茸生産組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	1,478
		星野村	星野椎茸生産組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	950
		黒木町木屋	大谷竹林組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹材改良	0.34ha	649
		立花町上辺春	立石椎茸利用組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	473
		立花町上辺春	小原椎茸利用組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	281
		立花町上辺春	柚ノ木椎茸生産組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	281
		小計	6,053					
行橋	豊前市	大字掘立	農事組合法人豊国農園	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	1,378
								小計
合計								12,487

(注) 四捨五入の関係で、小計の総和は合計の値と一致しない。